

新 運 転 東 京

第 75 号
(通巻 340 号)

2018年8月25日

発行人
新産別運転者労働組合
東京地方本部
(略称・新運転東京)
編集兼発行人 川村 勝
〒110-0003
東京都台東区根岸
3-25-6
TEL 03-5603-1300
FAX 03-5603-5300

灼熱の環境で働く仲間へ 私達に出来ること

組合員の皆さんには連日の猛暑の中での就労は、誠に過酷な状況と御察いたします。

この時期には毎年の様に、作業中の体調の変化には早急に応急処置をし、本人だけでなく共に働く周囲の仲間と協力することの周知徹底をはかってきました。

しかしながら今年の様な異常気象が連日続く中では、通常の知識や予防対策では対処できません。

とりわけ清掃就労者の収集作業員はいつ緊急搬送されても不思議ではない状態で就労しているのが現実です。実際に収集作業中に体調が悪くなり緊急車両を要請するかを現場で判断する状況になっている件数は週

に3件から10件以上にもなると聞いています。ましてや組合や供給先が報告を受けていない件数も多分にあると考えられるので、きわめて危険な環境で就労が日々繰り返されていることになり、そうした原因には幾つかの問題点があります。

たとえば午前10時から14時の最も危険な時間帯に一旦作業を開始すると、30分以上から収集のルートが長い現場ともなると、60分にも90分にもおよぶ灼熱地獄の中での収集が続けられている環境もあると報告を受けています。

次に対策を考えずに、はならないことは、午前中の炎天下での作業を終えて

等々をメモする者や近い将来のライフイベントにも必要な情報などを真剣に聞いている姿もありました。

約40分の講義を終了後、会議も議案書の次第のもとに進行し、行動報告と確認事項の確認がされ、議事へと進み、先ずは12月2日に予定していた定期大会を11月18日(日)にして開催会場もTKP・上野に変更された報告と9月に予定していた新運転中央研修会の実施会場先のホテルが倒産するというアクシデントもあり、開催を9月16日(日)にタプレット会館に変更する

昼の休息を取るにも、収集車両の駐車スペースと運転手や作業員が十分に体を休める施設等があまりにも不足していることです。

それでも彼らは路上の端に車両を停め、東京都の条例を守り、エンジンを停止した状態の車両の中で、室内温度50度を越える状況で待機をしています。

さらには雨の日は濡れた作業着で最後まで業務をやり遂げているのです。

またこうした状況を踏まえて幾つかの事業所では、出庫前につめたく冷やした水や凍らしたスポーツドリンクだけでなく、経口補水液(OS-1)などを配布してくださることもあり、我々を共に働く仲間として

考え、実せんじたくさることに組合員は心から感謝をしています。

そうした志を持つ事業所とは別に8月初旬の記録的な猛暑日の頃に、体調の異なる早い段階で気付き、作業を中断して休息したこと本人の体力も回復するということがあり、その後に当該組合員が就労する事業所の管理者から受けたコメントは「自己管理不足だから今後は注意してください」との言葉は悲しく残念なものでした。

当然ですが、そういう事業所では熱中症対策は何も行われていませんので、本人達の収入の中から実費で対策グッズを購入し、日頃から睡眠等の健康管理をし

報告を受けました。その後に推奨書記次長から60周年に伴い開催予定の組合員イベントについて、の予算とイベントの企画(案)などの報告を受けましたが10月予定の評議員会までにと2〜3回の組合員集会を実施して内容を集約して、前段の執行委員会に提案することになります。

最後の議事として2019年度の清掃就労者賞金労働条件適用を4月から実施する為、来月の9月から交渉を開始する報告について、以下の内容の意見があります。

第八六四回 執行委員会

タプレット会館で開催

去る7月26日の10時から新運転東京地方本部のあるタプレット会館5階会議室で第864回執行委員会が開催されました。

執行委員は、19名と会計監査2名での開催となり、太田執行委員長からの挨拶の後、従来の形式とは志向を変えて中央ろうきん荒川を交えて中央ろうきん荒川支店の石橋次長と新運転東京の渉外担当の加藤職員を講師に招き「融資を上手に借りて付き合うための学習

会」というセミナーを実施し、その内容は身近に潜むローンについて注意すべき事例としてりぼ払いの落とし穴とその仕組みについて、ローンの繰上げ返済の効果や個人信用情報について講義を受けた後に中央ろうきんの理念として他の金融機関とは違う立場で一番働く仲間へ対応していることの説明も受けました。

この講義に参加した執行委員の中には、講義の内容

等々をメモする者や近い将来のライフイベントにも必要な情報などを真剣に聞いている姿もありました。

暖の取扱い②軽小・平ボ・資源収集車・作業員の賃金労働条件向上と運転手と作業員の2名体制で収集する就労者に対してはその条件以上の取扱いとする。③粗大収集作業員の後日収集ルート地図作成に伴う手当てに關しても金額を一律とし支給する。という執行委員からの要請も参考に、9月からは始まる交渉に臨みたいと思ひます。

最後になりましたが三者の有り給給も2年目を迎えた組合員もいる中で協会側とも誠意を持って継続交渉をする事となります。

ながら就労しているのです。繰り返しとなりますが、例年とは比較できないほどの記録的猛暑が続き、埼玉県熊谷市と愛知県の名古屋市では40度を越える日も記録され、日中のテレビの画面には「15分以上の運動や作業は控えてください」という文字が映し出されている状況は誰でも一度は目にしているでしょう。こうした環境では本来、自己管理というレベルのことを済ませる内容ではありません。

尚、近年の清掃収集作業員の人材不足は業界における深刻な問題となり、必要な人員数を確保できない状態が現在も続いています。

この様な社会現象を鑑み、夏季の収集については、その環境で働く就労者の安全管理を清掃事業に携わる組織全体で早急に対策を考えなければならぬ重大な課題と言えらるでしょう。

もりかけ問題の追及も中途半端で致の中に置き去りにされたまま、実質的に7月20日に延長国会となった第196通常国会は閉会しました。終盤には厚生労働省から提出された各種法案の内、4月6日に提出された「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」が遂に6月29日の参議院本会議で可決成立しました。

その中でも我々に一番影響のある改正部分は、有給年連続で最下位という実

連合・平和フォーラム 広島・長崎! 平和行動へ参加!

連合は8月の平和運動として、広島・長崎の被爆地を主な行事として全国から約2000人が集まる「連合平和ヒロシマ集会」、連合広島青年・女性委員会が主催する運動などに取り組んでいる。「平和行動in広島」「ピースウォーク」などが行われた。

今回は、推奨書記次長が連合東京東部地協のスタッフ要員として参加し、諸行動の支え役に奮闘し、役員から頑張ったとの評価をいただいた。

「平和行動in長崎」では、8月8日〜9日にかけて「長崎平和キャラバ

ン隊」が、広島、山口、福岡、長崎市内で「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」を訴えながら、8日の「連合平和長崎集会」の参加に向けて、街直行動を行っ

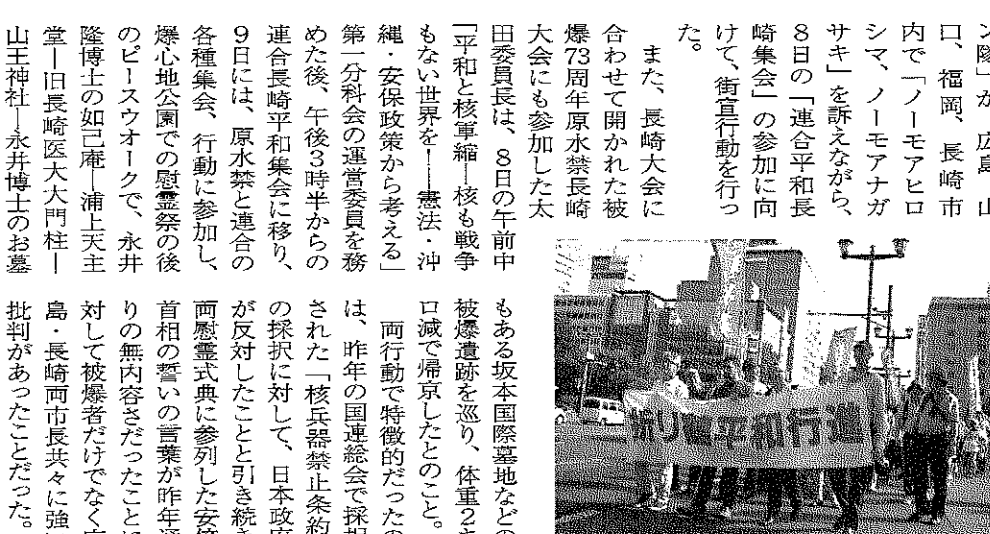
た。また、長崎大会に合わせて開かれた被爆73周年原水禁長崎大会にも参加した太田委員長は、8日の午前中

「平和と核軍縮―核も戦争もない世界を―憲法・沖縄・安保政策から考える」第一分科会の運営委員を務めた後、午後3時半からの連合長崎平和集会に移り、9日には、原水禁と連合の各種集会、行動に参加し、爆心地公園での慰霊祭の後のピースウォークで、永井隆博士の如己庵・浦上天主堂―旧長崎医大大門柱―山王神社―永井博士のお墓

もある坂本国際墓地などの被爆遺跡を巡り、体重2キロ減で帰京したとのこと。両行動で特徴的だったのは、昨年の国連総会で採択された「核兵器禁止条約」の採択に対して、日本政府が反対したこと引き続き両行動の誓いの言葉が昨年通り無内容だったことに対して被爆者だけでなく広島・長崎両市長共々に強い批判があつたことだった。

その一つは、三六協定残業時間の上限規制です。年360時間が原則ですが、臨時的特例でも年720時間までになります。但し自動車運転業務については5年間猶予されることになっていますが、労働災害惹起ポイントの月80時間、年間960時間までがリミットと考えるのが妥当なところでしょう。もう一つは、月60時間を超えた部分の50%増し支払いの中小企業免除の撤廃です。但しこれ5年間の猶予がもうけられています。

また経済産業省から出された所謂「規制のサンドボックス制度」法案において、一刻も早く止めさせなければなりません。



働き方改革に対する見解

タクシー部長 佐々木克己

恥すべき姿を世界に晒しています。ましてや今後見込まれる生産労働人口の減少が、有給休暇取得によって生産性向上の大きな障害になつてしまつて考えられてはたまったものではありません。早急にせめてお隣の韓国クラスの取得率に引き上げないと(67%に上昇中)世界の中の笑いものにもなりかねません。

そこで、新運転タクシー部も早急に当該の法案に対処していかなければなりませんので、供給先事業所と協議を開始する必要があります。また今回の改正では、我々に関係する大きな改正が他にもあります。

また経済産業省から出された所謂「規制のサンドボックス制度」法案において、一刻も早く止めさせなければなりません。

支部のついで

東支部

6月18日、大阪北部地震があり小学生を含む4名が亡くなり、負傷者434人となり、その後6月28日から大雨の被害で北海道から中部地方、そして7月5日から7日にかけて西日本豪雨災害へと続く悲惨な状況となり、死者数200名を超える最悪の事態となりました。

東支部として窓口に募金箱を作り組合員にカンパをお願いしています。

さて組合員は、毎朝各社でアルコール検査をしていますがその重要性を熟知しているにも関わらず2名の除名処分と2名の保留者が出ています。

また事故については、6月4件、7月7件で内容に注目されています。

提唱したのは、東京大学先端科学技術研究センターの教授の西成氏。彼による片側2車線の高速道路の場合、渋滞の始まりは「車間距離が40メートル以下になった時」という。車間距離が短くなる初めの人のブレーキはわずかも、後継車は少しずつ強く踏まざるを得なくなる。その強さは後ろに行くに従ってどんどん大きくなっていく。

私達も、一般道での子供達の飛び出し、渋滞による車間距離をしっかりと取って心にゆとりをもって、ゆるぎなく走り抜けるように取り組んでもらいたいと思います。

またまだ暑い日が続きます。水分補給をしっかりと取り相方にも心づかいをしながらこの夏を乗り切ってください。ガンバレ中高生！

連日の猛暑の中、本当にお疲れ様です。特に今年はお暑気象と感ずることが多々あるのではないのでしょうか。そんな中、まだ熱中症で倒れた組合員は残念ながら、その手前で休憩したりする等、未然に防いでいると報告が上がっています。それは倒れたり運ばれていないだけで、ほぼ熱中症の疑いとみていると思います。そういった状況を踏まえ、賃給依頼に込めることが出来るような日々が続くと企業はより真の姿を曝け出したこととなり、以前、彼が言っていた「身を切る改革」という立派な御言葉はどこにいったのやら。森友学園・加計学園を巡る問題や今回の国民の命よりも目先の金を優先した上で彼は9月の自民党総裁選に出馬します。

このまま、身勝手な独裁者に国に行く先を託してよいのでしょうか？

新しい年号を迎える頃消費税が増額されることで、庶民の暮らしは、益々苦しくなり、身を切る生活を迎える事となるでしょう。

多くの人材を募集し組合員の仕事が増えることも否定できないと思います。

人手不足でこの業界に新しい人は来ないと当たり前のように考えていると、いつかしつべ返しが来ます。

昨年より7日、平年差では22日も早く気象庁の記録でも6月に梅雨が開けるのは初めての事だそう。夏は初めの事だそう。高気温が、25℃以上の日のことをいいます。

「真夏日」とは、日中の最高気温が、30℃以上の日のことをいいます。

「猛暑日」とは、日中の最高気温が、35℃以上の日のことをいいます。その日の最高気温が、5℃ずつ暑くなるたびに此のように分類して呼ばれるそうです。これが以上に気温が上がると想定してはいけないので、40℃以上を指す言葉は存在しません。

地球温暖化の影響なのか、台風さえ迷走する狂った夏を迎え、熊谷の気温は遂に日本記録を塗り替えました。一方新運転本部の裏にあるセブンイレブンの入っているビルは全館日本語学校で占められ、鶯谷駅まで歩いて現金決済などはせず、スマートフォンや教育関連融資の借換え・お子さんの下の敷金や礼金まで、最高で1千万円を最長15年以内で返済期間を10年以内にする年2・40%で、ずっとサポート引下げ対象で、さらに2・20%まで金利が下がります。

この場合の積み立金は、原則的に教育必要資金として活用して大学入試費用として活用できます。そして、いよいよ入学する大学が確定した場合には中央ろうきんの教育ローンが有効です。資金使途としては、入学金・授業料・受験料だけでなく海外留学費用・他金融機関等

先週科学技術研究センターの教授の西成氏。彼による片側2車線の高速道路の場合、渋滞の始まりは「車間距離が40メートル以下になった時」という。車間距離が短くなる初めの人のブレーキはわずかも、後継車は少しずつ強く踏まざるを得なくなる。その強さは後ろに行くに従ってどんどん大きくなっていく。

こうした連鎖反応によって、やがて車の流れが止まってしまう。ついに「渋滞」となる。

彼が勧める対策は、「十分な車間距離を取り渋滞情報があればその手前でゆとりと進む事」。尚、渋滞時は追い越し車線に移動する車が増える為、全体の平均速度は、わずかに走行車線の方が早くなるそうだ。周りに配慮し、ゆとりを持つた安全運転が、そのまま渋滞の解消や最速時間での到着にもつながる。まさに「急がば回れ」であろう。

連日の猛暑の中、本当にお疲れ様です。特に今年はお暑気象と感ずることが多々あるのではないのでしょうか。そんな中、まだ熱中症で倒れた組合員は残念ながら、その手前で休憩したりする等、未然に防いでいると報告が上がっています。それは倒れたり運ばれていないだけで、ほぼ熱中症の疑いとみていると思います。そういった状況を踏まえ、賃給依頼に込めることが出来るような日々が続くと企業はより真の姿を曝け出したこととなり、以前、彼が言っていた「身を切る改革」という立派な御言葉はどこにいったのやら。森友学園・加計学園を巡る問題や今回の国民の命よりも目先の金を優先した上で彼は9月の自民党総裁選に出馬します。

このまま、身勝手な独裁者に国に行く先を託してよいのでしょうか？

新しい年号を迎える頃消費税が増額されることで、庶民の暮らしは、益々苦しくなり、身を切る生活を迎える事となるでしょう。

多くの人材を募集し組合員の仕事が増えることも否定できないと思います。

人手不足でこの業界に新しい人は来ないと当たり前のように考えていると、いつかしつべ返しが来ます。

昨年より7日、平年差では22日も早く気象庁の記録でも6月に梅雨が開けるのは初めての事だそう。夏は初めの事だそう。高気温が、25℃以上の日のことをいいます。

「真夏日」とは、日中の最高気温が、30℃以上の日のことをいいます。

「猛暑日」とは、日中の最高気温が、35℃以上の日のことをいいます。その日の最高気温が、5℃ずつ暑くなるたびに此のように分類して呼ばれるそうです。これが以上に気温が上がると想定してはいけないので、40℃以上を指す言葉は存在しません。

地球温暖化の影響なのか、台風さえ迷走する狂った夏を迎え、熊谷の気温は遂に日本記録を塗り替えました。一方新運転本部の裏にあるセブンイレブンの入っているビルは全館日本語学校で占められ、鶯谷駅まで歩いて現金決済などはせず、スマートフォンや教育関連融資の借換え・お子さんの下の敷金や礼金まで、最高で1千万円を最長15年以内で返済期間を10年以内にする年2・40%で、ずっとサポート引下げ対象で、さらに2・20%まで金利が下がります。

この場合の積み立金は、原則的に教育必要資金として活用して大学入試費用として活用できます。そして、いよいよ入学する大学が確定した場合には中央ろうきんの教育ローンが有効です。資金使途としては、入学金・授業料・受験料だけでなく海外留学費用・他金融機関等

マホ等の決済もしくは、本国の旅行会社との契約時に利用代金が含まれているとも言われているのです。確かにインバウンドが拡充されるのは大歓迎でも、その対応が私達に落ちないのであれば何の意味もありません。更にこのまま放置しておけば、いずれは常態化して、本業との区別が曖昧になり、全国的に様々な形態の所謂白タク営業が広がるのは間違いありません。

さて新運転本部が早稲田から根岸に転居して早22年、常々故郷崎委員は旧早稲田の本部設立にはタクシイの組合員が大きく貢献して頂いたと語っていました。それが、現タレット会館の設立には、今度はトラックの組合員の活躍なしでは語れないでしょう。

タクシイ部長 佐々木克己

支部長 菅原 元

支部長 樋口 浩

支部長 浦田 司

支部長 嶋澤 城

タクシイ部長 佐々木克己

タクシイ部長 佐々木克己

の 立

成

法

だ

ら

け

疑

問

結

この法律はカジノを刑法の賭博罪の適用対象から外し、解禁することが柱となり、その施設（IR）は全国3ヶ所を上限に整備し、日本人客からは1回の入場料の6千円を徴収することになっています。

尚、日本人客のカジノ入場は週3回で月10回までとして、マイナバーカードでの本人確認を義務化しているが、同法を担当する石井国土交通相は、「一回」は「一日」ではなく「24時間」の意味だと説明。日付をまたいで利用すれば事

実上週6日間利用できることを政府は認めたこととなるの

そして、カジノ法の最大の懸念点は手持ちの賭け金が不足した客に対してカジノ業者（施設）が融資する特定金融業務が可能となるだけでなく、年取の3分の1超の貸し付けを禁止する貸付法の対象外となることで、こうした同業は公営ギャンブルやパチンコ店には当然なく、ギャンブル依存症や多重債務を助長する制度である事は間違いありません。

また、カジノの営業は免許制としており、収益の30%を

国などに収めることとなるが、安倍首相はカジノ法が必要ない根拠として経済効果と言っているのだが収益の70%が民間のカジノ業者に渡る以上は競馬や宝くじのような公益性は薄く、合法とはいえないでしょう。

今回のカジノ法は消費増額を前に、ひたすら成立を急いだリスクの高い法の成立で、いえるでしょう。

尚、今回の審議の最中に、西日本豪雨災害が発生し、災害対策を担当する石井氏がカジノ法の審議に出席し続ける姿は災害対応よりカジノを優先するといった、安倍政権の

多くの人材を募集し組合員の仕事が増えることも否定できないと思います。

人手不足でこの業界に新しい人は来ないと当たり前のように考えていると、いつかしつべ返しが来ます。

昨年より7日、平年差では22日も早く気象庁の記録でも6月に梅雨が開けるのは初めての事だそう。夏は初めの事だそう。高気温が、25℃以上の日のことをいいます。

「真夏日」とは、日中の最高気温が、30℃以上の日のことをいいます。

「猛暑日」とは、日中の最高気温が、35℃以上の日のことをいいます。その日の最高気温が、5℃ずつ暑くなるたびに此のように分類して呼ばれるそうです。これが以上に気温が上がると想定してはいけないので、40℃以上を指す言葉は存在しません。

地球温暖化の影響なのか、台風さえ迷走する狂った夏を迎え、熊谷の気温は遂に日本記録を塗り替えました。一方新運転本部の裏にあるセブンイレブンの入っているビルは全館日本語学校で占められ、鶯谷駅まで歩いて現金決済などはせず、スマートフォンや教育関連融資の借換え・お子さんの下の敷金や礼金まで、最高で1千万円を最長15年以内で返済期間を10年以内にする年2・40%で、ずっとサポート引下げ対象で、さらに2・20%まで金利が下がります。

この場合の積み立金は、原則的に教育必要資金として活用して大学入試費用として活用できます。そして、いよいよ入学する大学が確定した場合には中央ろうきんの教育ローンが有効です。資金使途としては、入学金・授業料・受験料だけでなく海外留学費用・他金融機関等

マホ等の決済もしくは、本国の旅行会社との契約時に利用代金が含まれているとも言われているのです。確かにインバウンドが拡充されるのは大歓迎でも、その対応が私達に落ちないのであれば何の意味もありません。更にこのまま放置しておけば、いずれは常態化して、本業との区別が曖昧になり、全国的に様々な形態の所謂白タク営業が広がるのは間違いありません。

さて新運転本部が早稲田から根岸に転居して早22年、常々故郷崎委員は旧早稲田の本部設立にはタクシイの組合員が大きく貢献して頂いたと語っていました。それが、現タレット会館の設立には、今度はトラックの組合員の活躍なしでは語れないでしょう。

タクシイ部長 佐々木克己

タクシイ部長 佐々木克己

将来のライフイベントを考える（子育て編）

人生には、特に大きな資金を必要とするライフイベントがあり、収入と支出のバランスを考えて生活の基盤づくりをすることが大切となります。今回は住宅資金・教育資金・セカンドライフ資金の三大資金の中から教育資金について、お話をします。

子供の成長に伴い教育費はかさんでいきますが、子供一人を幼稚園から大学まで（全て私立文系・自宅通学）行かせた平均的な教育費は約2千455万円となります。

この商品には、本人の口座から子供積立口座へ引き落としすることで計画的に積み立てることができるように、一般のリース預金の店頭に金利が0.1%金利が上乗せされるので、お得となります。

この場合の積み立金は、原則的に教育必要資金として活用して大学入試費用として活用できます。そして、いよいよ入学する大学が確定した場合には中央ろうきんの教育ローンが有効です。資金使途としては、入学金・授業料・受験料だけでなく海外留学費用・他金融機関等

国の奨学金制度が改定され、現行は無利息での貸付者であることが条件で、それ以外は年3・0%以上の金利であることを考えれば断然、中央ろうきんの教育ローンの活用をお勧めします。

タクシイ部長 佐々木克己